

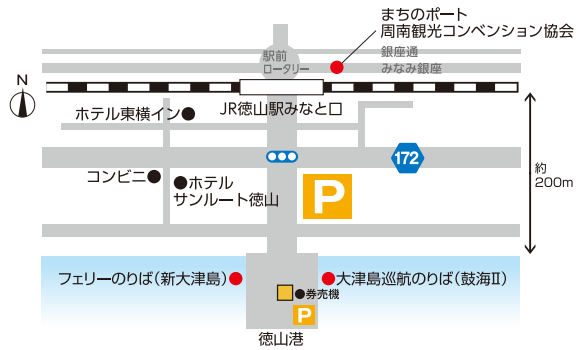


つなぐ、
平和の島
プロジェクト
heiwa no shima project

平和の島プロジェクトとは
人間魚雷「回天」が昭和19年11月8日に初めて実戦に投入されてから、70年が過ぎ多くの戦争体験者の方々は亡くなられ、戦争の事実は風化の一途を辿っています。その様な背景のなか、本市に訓練基地が存在した「回天」の史実を、広く後世に伝えていく事が急務であると考えています。祖国と愛する者たちの為に、自らの命をかけて戦った彼らと後世への想いを、伝えつなぐことで平和の道しるべとし、この周南市から日本へ、そして世界へ発信することで、世界平和に貢献できればと考えております。

アクセス

大津島行き船乗り場周辺図



JR徳山駅南側の徳山港から船で20~45分

大津島巡航 時刻表

運航時刻表 定期点検等で使用船舶及び運航時間に変更になる場合がありますので事前にお確かめください。

徳山港→大津島 ○数字は到着順

便	徳山	瀬戸浜	刈尾	馬島	本浦	船名
①	7:40		8:10	8:24		新大津島(フェリー)
②	9:30①	10:03④	9:57③	9:48②	10:15⑤	鼓海II
③	10:40		11:10	11:24		新大津島(フェリー)
④	13:10		13:27	13:36		鼓海II
⑤	14:40	14:59	15:05	15:14		鼓海II
⑥	16:10		16:40	16:54		新大津島(フェリー)
⑦	18:50①	19:23④	19:17③	19:08②	19:35⑤	鼓海II

大津島→徳山港

便	本浦	馬島	刈尾	瀬戸浜	徳山	船名
①	6:30①	6:57④	6:48③	6:42②	7:15⑤	鼓海II
②		9:00	9:14		9:44	新大津島(フェリー)
③	10:40①	11:07④	10:58③	10:52②	11:25⑤	鼓海II
④		13:00	13:14		13:44	新大津島(フェリー)
⑤		14:00	14:09		14:26	鼓海II
⑥		16:40	16:49	16:55	17:14	鼓海II
⑦		17:40	17:54		18:24	新大津島(フェリー)

(一財) 周南観光コンベンション協会
 山口県周南市みなみ銀座1-8
 TEL.0834-33-8424 FAX.0834-33-8425
 メールアドレス: info@shunan@ccsnet.ne.jp
 周南コンベンション 検索



すなわち
人間魚雷である

名は回天

昭和十九年
九月

福岡海軍航空隊の飛行予科練習生として航空兵になるべく訓練していた渡辺裕三たちに、新兵器の搭乗員募集が掛かる。悩んだ末、志願することにした渡辺、関口たちは、ある島へと送られた。そこで渡辺たちが目にしたものは、水中特攻兵器・回天だった。

【80p】



こんな特攻兵器、回天という兵器を作ったのか
 中尉の気持ちだけを教えてくださいませんか!?

初めて回天に乗った渡辺は怒りを感じる。なぜなら回天は水中で自分の位置を正確に把握するすべがなかったからだ。海図とゲージの数値を頼りに操縦するのは想像が必須であり、まさに暗闇をブレーキのない車で走りまわると同じだった。

何か敵国の兵器だ...
 欠陥だらけの不慮じゃないか...
 貴様達にはこれに乗ってもらおう...
 一旦搭乗すれば...

(C)SHUHO SATO

第二次世界大戦中に実在した特攻兵器「回天」を描いた作品
特攻の島

漫画
佐藤秀峰 作

探訪 *Map*
 (山口県周南市大津島)

「人物ファイル」
渡辺裕三
 福岡海軍航空隊の飛行予科練習生(通称 予科連)として航空兵になるための訓練を受けていたが、特攻兵器搭乗員募集に応じた。回天隊の隊員となる。回天隊で初と出ている「仁科」と同じで回天を作ったのか、意見を述べ、絵を描くことが好きな青年。

仁科関夫
 回天開発者の一人、同じく開発者黒木に比べると、黒木に敬して「凡太」と言われ、第二次大戦終結、水陸特攻隊、西太平洋のワルン、環礁にて特攻し戦死。

黒木博司
 回天開発者の中心人物、軍令部や海軍省などに働く働き、人間魚雷「回天」を開発させる。回天隊発足当初の訓練中、海図を盗み去る。

関口
 渡辺と同じ福岡海軍航空隊の飛行予科練習生で、井上志郎と回天隊の隊員となる。志願したものの「回天」は作られなかった。